

## (5) 学習者に心がけていただきたいこと

参加者みんなの協力で学習するプログラムです。学習者は次のようなことを心がけてください。

### ① 参加者はみな平等です

参加者（ファシリテーターも含めて）はみな平等です。

決められた時間のなかでの学習ですから、一人の人がしゃべり過ぎないようにしましょう。

そして、人の意見はしっかり聞きましょう。

自分と考え方が違うからといって、その人の意見を頭ごなしに否定したり、持論をまくし立てて黙らせたりしてはいけません。

しゃべりが得意な人もそうでない人も、たとえば発言の時間を決めるなどして、平等に学びあえる場になるよう、みんなで考えましょう。

### ② 発言は強制ではありません

しゃべりたくないことを無理にしゃべる必要はありません。そのときは「パス」しましょう。

人の話を聞いて考えるというのも、立派な学習活動です。他の学習者も、そのことを責めてはいけません。

### ③ 人の「ひみつ」を守りましょう

学習の場で知った「ひみつ」は、その場に置いて帰りましょう。

同じ時間を共有することで、参加者同士には信頼関係が生まれます。そのなかで、初めて安心して自分（や自分の家庭）についてしゃべることができるのです。

それは学習活動のなかでは必要なことですが、学習の場を離れると必要ではありません。

学習の場で知った参加者の個人情報、けっしてよそでしゃべったりしないようにしましょう。

※ファシリテーターが学習者に心がけていただきたいことを伝える場合、後掲の「展開例」の留意点には、次のように表記しています。参考にしてください。

「三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。（パス有り）」



イラスト：うじな かずひこ